

# いわくに市議会だより シー See 議会

No. 60  
令和3年11月発行



紙面のQRコードをスマートフォンなどで読み込んでいただくと、より詳細な内容をご覧ください。

## 「食欲旺盛」 藤井孝子氏撮影（写団ひまわり所属）

第65回岩国市美術展覧会写真の部で、市議会議長賞を受賞されました。

### 目次(主な内容)

9月定例会の報告	2	議員提出議案	9
新型コロナウイルス感染症に関する提言	2	議案の賛否	9
特別委員会・議会運営委員会・各常任委員会視察報告	3~4	常任委員会審査報告	10~11
一般質問	5~8	11月臨時会・12月定例会の予定	12
特別委員会報告	8	編集後記	12

# 9月定例会の報告

9月定例会は、8月27日から9月24日までの日程で開催されました。

定例会初日には、諸般の報告5件、監査報告4件、報告11件、人権擁護委員の推薦についての諮問3件、令和2年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど認定13件、令和3年度岩国市一般会計補正予算（第5号）など23議案が上程されました。

議決を要する39の案件のうち、諮問3件及び議案1件が可決され、認定13件、議案22件がそれぞれ、総務常任委員会、教育民生常任委員会、経済常任委員会、建設常任委員会に付託されました。

一般質問は9月7日から10日までの4日間の日程で23人の議員が登壇し、新型コロナウイルス感染症関連についての本市の対応や脱炭素社会実現に向けた本市の取組、防災・減災対策等について、活発な議論が交わされました。

9月14日から17日の4日間の日程で経済、教育民生、建設、総務常任委員会が開催され、付託された議案について慎重な審査が行われました。最終日には、各常任委員会の委員長から、委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告があり、認定13件、議案22件の全てが、原案の

とおり可決されました。なお、継続審査案件であった請願第2号については、教育民生常任委員会より引き続き継続審査の申し出がなされ、承認されました。

次に、委員会の中間報告として、都市活力再生・推進調査特別委員会中間報告がなされました。

続いて、議員提出議案は、「岩国市議会委員会条例の一部を改正する条例」及び「中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び人権侵害があった場合の抗議を求める意見書」の2議案が提出され、全会一致で可決されました。

岩国市議会議長

藤本 泰也

## 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策に対する提言について

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会においては、本年2月5日及び3月24日に提言を取りまとめ、提出したところですが、その後も感染が拡大し、経済活動等が停滞していることから、引き続き調査・研究を実施しました。その検討結果を基に、令和3年8月17日、次のとおり提言書を提出しました。

記

新型コロナウイルス感染症により経済的支援を必要としながら、支援制度の情報を知り得なかったり、支援手続の煩雑さにより、支援に結びつかなかった事業者に対し、市役所内に総合的な窓口を設けることにより、各種支援制度の情報を分かりやすく提供し、複雑な申請手続をサポートするなどの一貫した支援を行うこと。

なお、窓口設置に当たっては、下記事項に留意されたい。

### 【留意点】

- 1 国・県・市及び経済団体等の実施する支援制度に結びつけるために、県や商工会議所などとの連携を十分に確保すること。
- 2 今まで経済的支援に結びついていない各事業者に対する情報提供が行き届くよう、報道機関と連携をとるなど、相談窓口設置の情報について周知を図ること。
- 3 新型コロナウイルス感染症に係る経済的支援窓口がどこにあるか一目で分かるよう、案内を工夫するとともに、気兼ねなく相談できる窓口運営に努めること。
- 4 一定の期間を設け、集中的に相談対応に当たること。



## 「防災・減災対策推進調査特別委員会」講演会及び県内視察報告

本特別委員会は、平成30年7月の豪雨災害を踏まえた課題等を整理・検証した上で、今後の防災・減災対策について調査・検討を行うことを目的として活動しておりますが、このたび、山口県河川委員会委員長・山口大学名誉教授の三浦房紀先生を講師としてお招きして、「河川整備計画と豪雨対策について」及び「避難所における対応について」講演会・意見交換会を実施しました（令和3年7月15日）。国の国土強靱化基本計画や県の河川整備計画を踏まえた上で、気候変動の影響も視野に入れた今後の河川整備のポイントを把握するとともに、災害に強い地域を実現するための施策や感染症下における避難所の運営などを調査しました。

また、令和3年8月20日には、山口大学の地域防災・減災センターを視察し、近年の山口県の災害状況を基に、水害、土砂災害、地震など、今後、岩国市で起こり得る災害及び防災・減災のポイントについて、調査及び意見交換を行いました。

このたびの講演会・視察において、専門家の方々と過去の災害のデータを踏まえての意見交換を行うことができましたので、今後の特別委員会の活動に生かしてまいります。



## 「議会運営委員会」県内視察報告

議会運営委員会とは、議会を円滑に運営するため、議事の順序や進め方などを協議したり、議長の諮問事項について調査を行う委員会です。

当市議会では、議会運営委員会の活動を通じた議会の活性化を図っており、議会運営委員会における協議・調査に基づき、議員定数の見直し、特別委員会の設置による調査の推進（新型コロナウイルス感染症対策、防災・減災対策、都市活力再生、市民に分かりやすい議会広報など）、議員提出議案による意見書の提出、条例の制定などの取組が進められています。

このたび、今後の議会運営の参考にするため、周南市議会を視察し、「議会運営委員会と会派代表者会議との関係について」「予算決算委員会について」及び「議会改革について」の意見交換を行いました。周南市議会では、委員会と民間との対話を重視されておられますが、岩国市議会でも、特別委員会において民間との懇談会を開催したり、常任委員会の市内視察において、民間団体を訪問し、意見を交換する等、市民の声を議会活動に反映するための取組を実施しており、今後も活動を充実させていく所存です。



## 「経済常任委員会」市内視察報告【6月29日（火）・7月20日（火）】

本委員会においては、地域経済の現状等について調査を行うため、令和3年6月29日及び7月20日に市内視察を実施しました。地方卸売市場では、生産者の高齢化や担い手不足、市場を介さない取引が増加していることなどの説明を受けました。岩国市漁業協同組合では、資源管理型漁業の推進の一方で、小型定置網漁の実施に向けて体制を整えていることなどの説明を受けました。ソオタス シバタバリーファームでは、就農支援を受ける際の困難や、6次産業化に至る経緯などについて説明を受けました。山口県東部森林組合では、本市の林業を取り巻く状況の説明を受け、新築移転した社屋の見学を行いました。バンカーズファームでは、地域の協力を得ながら事業を展開しており、地域農業の豊かな未来に向けて挑戦していることなどの説明を受けました。デナリファームでは、ICT機器の活用、食育発信型農業・農福連携を目指していることなどの説明を受けました。神東ファームでは、耕作放棄地で果樹栽培をする取組を行っており、土壌改良の必要があるものの、活用できる補助制度がないことなどの説明を受けました。

今回、御協力いただいた皆様の御意見・御要望等を今後の委員会活動に生かしてまいります。



## 「教育民生常任委員会」市内視察報告【7月8日(木)】

本委員会では、市内小・中学校におけるICTを活用した取組及び国際交流支援員による取組についての調査を行うため、令和3年7月8日(木)に、麻里布小学校、周東中学校、由宇中学校、麻里布中学校への視察を実施しました。

それぞれの小・中学校において、学校の担当教諭等からの説明を受け、実際にタブレット端末を活用した授業と、国際交流支援員が加わって行った英語の授業を視察しました。

このたびの視察で、当該取組における現場の実情を把握することができました。本委員会においては、今後も現場の状況把握に努め、本市における行政サービスの向上につなげてまいりたいと考えております。



## 「建設常任委員会」市内視察報告【7月7日(水)】

令和3年7月7日(水)に、重要なライフラインである「道路」の中でも、特に重要な岩国・大竹道路について視察を実施しました。

岩国・大竹道路は、一般国道2号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、広島県と山口県の広域的な連携・交流を目的に整備されている高規格道路です。

事業主体である国土交通省中国地方整備局に御協力いただき、事業概要・進捗状況などの説明を受けた後、岩国市室の木町・山口県玖珂郡和木町・広島県大竹市のそれぞれの工事現場の視察を行いました。

渋滞の緩和による移動時間の軽減により、宮島・錦帯橋などの観光地のほか、岩国錦帯橋空港・岩国医療センターなどの地域拠点施設へのアクセス向上などが期待されるとともに、防災や救急搬送の面からも、岩国市や大竹市にとって早期完成が必要な道路であることを再認識したところです。

今回の視察で学んだ成果等を、今後の委員会活動に生かしてまいりたいと思います。



## 「総務常任委員会」市内及び県内視察報告【7月16日(金)・7月27日(火)】

令和3年7月16日に、地域交通の運営や課題等について調査するため、いわくにバス株式会社及び錦川鉄道株式会社の視察を行い、安定した公共交通サービスを確保するための多くの取組や課題を把握することができました。また、体育施設の指定管理の現状・課題等について調査するため、二鹿野外活動センターの視察を行ったところ、施設の老朽化や利用率の低下などの様々な課題があり、今後の指定管理の在り方を検討する必要があると感じました。

7月27日には、山口県庁において、山口県におけるデジタルトランスフォーメーションに係る施策及びデジタル・ガバメントの構築に向けた取組の説明を受け、岩国市としても積極的にデジタル化を推進していくことが必要であると感じました。その後、山口市役所を視察し、行政窓口におけるキャッシュレス決済の導入についての説明を受け、岩国市においても必要なサービスであると感じました。

このたび、各団体等の御協力により、大変有意義な行政視察を実施することができましたので、その成果を今後の委員会活動に生かしてまいります。



# 一般質問 市政を聞く

9月定例会では、30人中23人の議員により、新型コロナウイルス感染症関連をはじめ、防災対策、地域振興、農業振興、福祉施策、人口減少問題など、59項目にわたる質問が行われました。

※紙面の都合上、質問と答弁の内容を要約して掲載しています。



## 会派代表質問



河合 伸治  
(公明党議員団)

**問** 新型コロナウイルス接種の副反応への対応はどのようになっているのか

2回目のワクチン接種後、救急搬送された際、高額な医療費を請求される事案が発生し、ワクチン接種が無料でも高額な医療費を請求されたらたまらないとお叱りの電話を頂いた。対応はどのようになっているのか。

**答** 接種会場においてチラシを配布し制度を周知している

集団接種会場では、接種者全員に救済制度を知らせるチラシを配布している。同時に保健センターからも体調確認の電話をしている。本市の状況は集団接種会場では、約5万回の接種で158件(0.32%)、個別では9万9,500回で16件(0.16%)となっている。医療費については制度に基づき、市の窓口申請書を提出いただき、県を通して厚生労働省に提出する。その後、個別の審査が行われ、結果が通知されることとなっている。

## 会派代表質問



長岡 辰久  
(日本共産党市議員団)

**問** 米海軍貨物弾薬補給艦カール・ブラシアの停泊はルール違反

先月22日から今月7日まで、ブラシアが岩国基地の港湾施設に停泊していた。これは国・県の「新しい港湾施設は、現有の港湾施設機能を確保するためであり、大型艦船停泊のためではない」に明確に反している。

**答** 市民に影響があるようなものではないので問題視しない

**問** 人口減少問題は、暮らしを支え、人間らしい生活を保障する社会への転換が必要

転入・転出を要因とする社会増減は、令和2年は子育て世代を中心にわずかに改善されているが、18歳から34歳は減少している。総人口は年に1%強ずつ減少している。時給が安い山口県は、東京都に比べ年収で約60万円も差がある。若い世代を支援することが必要。

**答** 平成27年と令和2年では、改善が見られる

## 会派代表質問



片岡 勝則  
(憲政会)

**問** コロナ禍における本市の医療体制について

**答** 妊産婦への特別な配慮について

多くの妊産婦が、健康診査の受診や、出産のための入院に対し、感染予防の制限を受け、不安を抱えていることと推察する。体調不良になった際には、まず、かかりつけ医に相談し受診となるが、当該産婦人科が対応できない場合には、受診・相談センターまたは岩国市保健センターに連絡いただく。と受診可能な医療機関を案内し、受診の上必要に応じ、検査を実施する。里帰り出産等で県をまたぐ移動を伴う場合の経過観察期間中でも、同様に対応する。妊産婦の感染が判明した場合は、速やかに山口県により、妊婦を対象とした県指定医療機関での受診、入院措置が行われる。市として、相談体制をさらに充実させ、不安解消に努めてまいらる。

会派代表質問



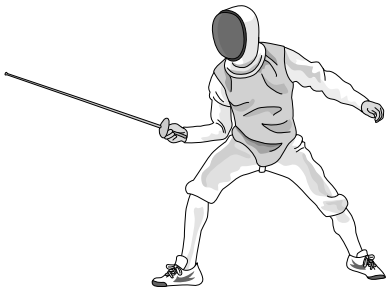
石本 崇  
(市政改革クラブ)

**問** 東京五輪で活躍した選手の名前を冠した大会を

先般、多くの国民を感動の渦に巻き込んだ東京五輪が開催されたが、その中には岩国市出身、あるいはゆかりのある選手が4名もいる。岩国市のスポーツ振興のためにも出場した選手の名前を冠した大会を開催する考えはないか。

**答** 加納虹輝選手の名前を冠した大会を検討

フエンシング男子エペ団体が金メダルを獲得した岩国工業高校出身の加納虹輝選手からもそのような声が上がった。市としても前向きに検討する。



植野 正則  
(二葉会)

**問** 農業委員会の委員並びに農地利用最適化推進委員の定数減の根拠と委員への影響を問う。

**答** 農業委員の定数は法律の規定にのっとり3年の任期ごとに見直すことになっている。現在、岩国市の農地面積が4,989ヘクタールであり、農業委員の定数区分2に該当することから19人に減じるもの。農地利用最適化推進委員についても法律の規定により減となる。



中村 豊  
(公明党議員団)

**問** 軽度認知障害(MCI)の早期発見による認知症予防、認知症に対する意識啓発のためにも「認知症簡易チェックシステム」は有効である。本市の見解を問う。

**答** 認知症疾患医療センターや岩国健康福祉センターなどの関係機関と作成した、本市独自の「認知症ケアパス」がホームページで活用されるように、使いやすい工夫などを行う。



広中英明  
(市民クラブ・草の根)

**問** 昨年から続いているコロナ禍の中で、学校で行われる様々な行事は縮小や中止になっている。子供たちにストレスがたまり摩擦が起されれば、新たな形のいじめが増えるのではないか。

**答** 新しい形のいじめの増加が懸念されるため、4月に配付済みのタブレットを活用していじめ対応をしていく。



矢野 匡亮  
(湧水)

**問** 土砂埋立て等の条例について。

**答** 残土処分など土砂埋立ての規制については、現在の法令等では、十分な対応を行うことが困難な事例もあることから、国や県において、法令や条例等の整備が検討されるものと考えており、その動向を注視しながら、市民の皆様の不安が少しでも解消されるよう、適切に対応していく。



田村 博美  
(憲政会)

**問** 公園等でのキッチンカー営業について。

**答** 愛宕山ふくろう公園について、運用ルールを定めたので10月から利用できる。その他の施設については、制度上の可・不可はあるが、市民文化会館については検討する。

**問** 学校飼育動物の現状と今後の取組について。

**答** アレルギー等への配慮により小動物を飼育する学校は1割程度。道徳科を要とし、生命尊重や愛護の心情等の育成に努めたい。



石原 真  
(同志会)

**問** 導入の提言をしていた道路の異常を通報するアプリが、岩国市公式LINEアカウンタ内「道路・公園に関する通報」として、6月1日から運用開始された。その実績は。

**答** 通報アプリについては、カメラ機能や位置情報を活用し、破損状況や正確な位置確認ができるため、的確で速やかな対応につながっており、多くの方々に御利用いただきたい。



姫野 敦子  
(リベラル岩国)

**問** 新学期が始まり、デルタ株の影響で子どもの感染が増加。光市では不織布マスクも配付。登校後の発熱時など他の児童・生徒への感染防止など保健室の利用や養護教諭の対応は。

**答** 国からの通達を踏まえ、3密の回避や手洗い、消毒、換気を実施。必要時にマスク配付している。夏休み中に、職員のワクチン接種も済ませたが、今後も注意して対応する。



越澤 二代  
(公明党議員団)

**問** 本年4月に山口県犯罪被害者等支援条例が施行された。犯罪被害者とは、交通事故・DV・ストーカー等により被害に遭われた方及びその家族または遺族をいう。被害に遭われた方々に寄り添い、犯罪被害者等を支えるための住居確保・経済的支援等の現状と今後の取組について伺う。

**答** 本市は犯罪被害者等の相談や情報提供の窓口をくらし安心安全課に設置。国・県・関係機関と連携し、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向け、被害者支援の取組を進める。



松川 卓司  
(憲政会)

**問** 義務教育課程における部活動の在り方について伺う。

**答** 少子化による生徒数の減少、指導者不足、働き方改革により、令和5年度から段階的に地域スポーツに移行し、休日の部活動は学校で行わず、地域のスポーツクラブで行う。

**問** 今後の部活動は受益者負担となるが、家庭の事情や経済的問題で参加することができない生徒がないよう対策を講じるよう求めた。



丸茂 郁生  
(志誠いわくに)

**問** 市営プールについて

老朽化した各市営プールを統合し、新しい市営プールを建設するべきと考える。

**答** 各施設の利用状況などを検討し検討する。  
(スポーツ推進課)

**問** 自治会活動について

他の自治体を参考に地域活動へポイントを付与する制度を導入するべき。

**答** 調査・研究する。  
(行政経営改革課・政策企画課)  
その他の質問項目  
・令和3年度介護保険制度改正について



片山 原司  
(二葉会)

**問** 岩国市手話言語条例の制定について、重点とする項目は何か。

**答** 本市の現状として、手話通訳士は4名、手話通訳者の実働できる方は5〜8名、手話奉仕員は数名の活動状況であり、合わせると手話通訳者等は10〜15名で非常に少ない。これを増やすために、手話サークルへの加入促進や次のステップアップへの働きかけなどで手話通訳者等を増やす。



大西 明子  
(日本共産党市議員団)

**問** 南岩国地区都市再生整備計画

事業2億1,967万5,000円が補正予算に計上された。南岩国駅は陳情駅である。昭和13年愛宕村は新駅設置の請願書を提出。昭和24年3月市議会も請願を決定。その結果、工事3,220万円。その内、東洋紡K・Kが2,200万円、市が1,020万円を負担。昭和27年6月に完成。市民が協力して創りあげた陳情駅南岩国駅の土地購入交渉の内容及び経過について質問。

**答** 既に農業を開始している人からのニーズ把握は行わないのか。  
**問** 今後は開催をどうしていく。  
**答** NIE教育についてどう考えるか。  
**問** 新聞を活用した教育は、子供の成長を促進するため、新聞を効果的に活用する。



瀬村 尚央  
(市政改革クラブ)

**問** BCP (業務継続計画) をどう進めていくのか。

**答** 危機管理課を陣頭に、それぞれの部署で業務の洗い出しを行い、集約し全庁的に計画策定に取り組む。

**問** 在日米軍再編計画について

(1) 在日米軍再編計画が、示されたとおり遂行されているのか聞く。  
(2) 再編交付金が令和3年度で終了。岩国市に特化した支援策について聞く。  
(3) 事務所・店舗等と告示後住宅がいっ防音工事の対象になるのか聞く。



重岡 邦昭  
(市民クラブ・草の根)

**問** 岩国市を山口県東部の中核都市に移行すること、特に企業誘致について聞く。

**答** 岩国市を山口県東部の中核都市に移行すること、特に企業誘致について聞く。



小川 安士  
(日本共産党市議員)

**問** 図書館運営の全てを規則で決めるのではなく、条例で最低基準を定めるように改定するべきだ。図書館協議会は文科省も設置努力を求めている、設置するべきではないか。

**答** 条例は合併後の改正理由を再度見直し、慎重に検討したい。図書館協議会は、アンケートやパブリックコメントなど、その都度選択実施することが効果的であると考える廃止した。



武田 伊佐雄  
(憲政会)

**問** 高校生から提言があったような、中山間地域に観光の起爆剤となるような自然共生型の施設整備について、提言を受け止められた福田市長はどのように考えているか。

**答** 高校生からは、アクティビティなど様々な観点から斬新な御意見を頂いた。岩国の自然を生かして、雇用や経済に波及するためなどのようなものがよいか探求していく。



中村 雅一  
(憲政会)

**問** 本市の小児医療の現状及び休日夜間対応の課題点と今後の目指す小児医療体制、改善点は。

**答** 広域な本市の医療体制で可能な形を令和4年度から令和8年度の5年間で新たな地域医療計画を策定し、産科医療・小児医療の堅持を図り、夜間診療体制を含め検討していく。



広中 信夫  
(市民目線で考え行動する会)

**問** 現状、行政情報（広報いわくに）・市議会だより等は自治会により自治会員のみ対象として配付されている。自治会に入っていない29%の市民には届いていない。市税を納めている市民の行政情報を知る権利と行政の知らせる義務をどう考えるか問う。

**答** 今の状態が決まっているとは思っていない。自治会を含め市民の方と情報共有し、課題の解決に取り組んでいきたい。



桑田 勝弘  
(公明党議員団)

**問** 令和2年度の市営住宅の応募倍率は、立地やエレベーターの有無により状況は異なるが、本庁所管で96件の募集に対して申込みが166件。老朽化等もあり、市営住宅の建て替え工事について所見を問う。

**答** 現在策定中の「住生活基本計画」で効率的・効果的な活用方針を示し、来年度見直し予定の「長寿命化計画」の中でより適正な在り方を目指す。

都市活力再生・推進調査特別委員会の中継報告  
(令和3年9月定例会)

日 時	回 数	内 容
平成30年	12月21日	第1回 都市活力再生・推進調査特別委員会を設置
平成31年	1月18日	第2回 委員会の進め方について協議
	2月25日	第3回 調査対象区域の現状について調査
	3月22日	第4回 調査対象区域の現状について調査
令和元年	6月 5日	第5回 調査対象区域の現状について調査
	9月27日	第6回 委員会の進め方について協議
	11月 5日	第7回 調査対象区域の現状について調査
		意見交換会
令和2年	1月14日	視 察 山口県山口市において、新山口駅北地区拠点施設整備事業について現地視察
	1月17日	第8回 委員による意見交換
	2月12日	視 察 兵庫県神戸市において、スーパーコンピューターを活用した取組について現地視察
		2月13日
	2月20日	第9回 調査対象区域の現状について調査
	7月17日	第10回 委員会の進め方について協議
	11月26日	第11回 新型コロナウイルス感染症に重点を置いた特別委員会の設置のため、一旦、休止とすることを決定
令和3年	9月21日	第12回 委員会の進め方について協議

本特別委員会は、「本市の中心地域における都市活力の源とも言える岩国錦帯橋空港、JR岩国駅、JR南岩国駅などをそれぞれ軸とした都市拠点における都市活力の再生・推進の実現に向けた総合的な調査・研究を進める必要がある」と考え、設置したものであります。

平成30年12月の設置以来、12回にわたる委員会を開催し、加えて意見交換会や委員を派遣して視察を行うなどの調査を重ねてまいりました。



# 議員提出議案について

9月定例会において、以下の2件の議員提出議案が可決されました。

## 1 議員提出議案第4号 岩国市議会委員会条例の一部を改正する条例

常任委員会の委員の定数について、「総務常任委員会 8人」を「総務常任委員会 7人」に改め、「教育民生常任委員会 8人」を「教育民生常任委員会 7人」に改めるとする改正案を全会一致で可決しました。



《提案説明》公明党議員団 越澤二代議員

## 2 議員提出議案第5号 中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び人権侵害があった場合の抗議を求める意見書

中華人民共和国による新疆ウイグル自治区への人権侵害があった場合、日本政府に様々な手法を用いて嚴重に抗議することを要請する意見書を全会一致で可決しました。



《提案説明》市政改革クラブ 石本 崇議員

## 9月定例会の議案に対する各議員の賛否を掲載しています

【全会一致で認定・可決された議決事件】

### 【諮問】

- ・人権擁護委員の推薦について（3件）

### 【決算】

- ・令和2年度岩国市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和2年度岩国市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和2年度岩国市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和2年度岩国市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和2年度岩国市周東食肉センター事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和2年度岩国市観光施設運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和2年度錦帯橋管理特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和2年度岩国市市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和2年度岩国市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ・令和2年度岩国市病院事業会計決算の認定について
- ・令和2年度岩国市下水道事業会計決算の認定について
- ・令和2年度岩国市簡易水道事業会計決算の認定について

### 【議案】

- ・令和2年度岩国市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- ・令和2年度岩国市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

- ・令和3年度岩国市一般会計補正予算（第5号）
- ・令和3年度岩国市一般会計補正予算（第6号）
- ・令和3年度岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ・令和3年度岩国市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和3年度岩国市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和3年度錦帯橋管理特別会計補正予算（第1号）
- ・令和3年度岩国市市場事業特別会計補正予算（第1号）
- ・令和3年度岩国市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
- ・令和3年度岩国市下水道事業会計補正予算（第1号）
- ・岩国市手話言語条例
- ・岩国市病院事業の設置等に関する条例
- ・岩国市森林環境整備基金条例の一部を改正する条例
- ・岩国市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員定数条例の一部を改正する条例
- ・わかば保育園新築工事請負契約の締結について
- ・市営住宅沖原団地新築工事請負契約の締結について
- ・不動産の取得について
- ・玖西環境衛生組合の解散に関する協議について
- ・玖西環境衛生組合の解散に伴う財産処分に関する協議について
- ・玖西環境衛生組合の解散に伴う事務の承継に関する協議について
- ・岩国市過疎地域持続的発展計画の策定について

### 【議員提出議案】

- ・岩国市議会委員会条例の一部を改正する条例
- ・中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び人権侵害があった場合の抗議を求める意見書

【本会議で賛否が分かれた議決事件】

(○=賛成、×=反対)

件名	議決結果	憲政会										公明党議員団	共産党	市政改革クラブ	市民	同志会	二葉	志誠	リベ	新政	創志	湧水	行動								
		片岡勝則	貴船齊	桑原敏幸	武田伊佐雄	田村博美	中村雅一	松川卓司	松本久次	河合伸治	桑田勝弘	越澤二代	中村豊	大西明子	小川安士	長岡辰久	石本崇	瀬村尚央	細見正行	重岡邦昭	広中英明	石原真	山本辰哉	片山原司	植野正則	丸茂郁生	姫野敦子	藤重建治	藤本泰也	矢野匡亮	広中信夫
令和2年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩国市英語交流センター条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（藤本泰也）は採決に加わりません。

※会派名の省略は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市民=市民クラブ、草の根、志誠=志誠いわくに、リベ=リベラル岩国、新政=新政和会、創志=創志会、行動=市民目線で考え行動する会、二葉=二葉会

# 委員会審査報告

経済常任委員会・教育民生常任委員会・建設常任委員会・総務常任委員会

## 経済

委員長 瀬村 尚央  
副委員長 小川 安士  
委員 河合 伸治・田村 博美  
藤重 建治・松本 久次  
山本 辰哉



認定第1号 令和2年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 商工費における観光費の錦グリーンパレス管理運営費に関し、指定管理者の経営状況は、新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、厳しい状況にあると思われるが、新たな施設の活用策について、どのように考えるか伺う。

答 建物あるいは地域にとつてどのようなことにすることが有効なのかということについて、市役所だけではなく、多方面から様々な考えを聞きながら検討するべきであり、しっかりと考えていきたい。

問 商工費における商工総務費の地域ブランド推進関係費に関し、「つまんでちょんまげ」の売上額等の具体的成果及びオンライン販売の展開について伺う。

答 実績については、本年8

月末までの間に、商品販売個数が9,727個、売上額が658万501円となっている。発売当初6か所であった売場も、現時点では約20か所にまで拡大しており、オンライン販売については、問屋のECサイトにより展開している。

議案第98号 岩国市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員定数条例の一部を改正する条例の審査について

委員中から、本議案に対し、「農業委員の選定に当たっては、現在の案件数を勘案した人員配置とすること」「認定農業者の過半要件についても、全体のバランスを勘案した人員配置とすること」の2点を内容とする附帯決議案が提出され、慎重審査の結果、附帯決議を付すことに決した。

問 小中学校学校給食運営事業に関し、学校給食の献立を考える上での栄養摂取基準について伺う。

認定第1号 令和2年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 小中学校学校給食運営事業に関し、学校給食の献立を考える上での栄養摂取基準について伺う。

答 文部科学省が示す学校給食摂取基準は、全国的な平均で、小学生の平均は約660キロカロリー、中学生の平均は約850キロカロリーとなっている。

問 実際には文部科学省が示す基準値より低い数字で計算された献立がつけられているが、栄養管理は適正になされているのか、伺う。

答 子供たちが栄養価のあるものを食べて心身ともに健康的な生活を送ることはとても大事なことである。栄養面や価格面などを総合的に考え、基準をクリアできるように早急に対応していきたい。

## 教育民生

委員長 越澤 二代  
副委員長 広中 英明  
委員 石原 真・片岡 勝則  
片山 原司・桑原 敏幸  
武田伊佐雄・長岡 辰久



認定第1号 令和2年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

問 岩国市療育センターについて伺う。

答 令和2年度の利用実績は療育相談・診察件数が2,977件、個別訓練件数3,819件、集団訓練件数286件となっている。集団訓練については密を避けるため、現在は1組5人までと制限をかけ、実施回数を増やす形で対応している。療育センターの利用希望者が多く、療育相談・診察まで二、三か月待ちという状況であるが、その際は療育センター内の「あいあいサークル」と呼ばれる親子通園訓練事業を紹介し、一旦はそこで子育て・発達の相談等をしていただき、診察を待っていた方法で対応している状況である。

結果 本委員会所管分は慎重審査の結果、認定すべきものと決しました。

9月24日の本会議で、各常任委員会の委員長から審査報告がありました。  
主な審査内容と結果を要約して掲載しています。

## 建設

委員長 中村 豊  
副委員長 姫野 敦子  
委員 石本 崇・植野 正則  
貴船 齊・中村 雅一  
藤本 泰也



認定第1号 令和2年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

**問** 老朽危険空き家除去促進事業費補助金の交付実績等について伺う。

**答** 令和2年度は14件の実績となっており、交付までの流れとしては、職員が聞き取り及び審査を行い、要件に該当すれば補助金を交付していくことになり、30万円を限度額としている。

**問** 補助金の申請がなされなく、道路等に倒れかけ、非常に危険な状況となっている空き家についてはどのような対応を取っているのか伺う。

**答** 申請に基づく解体について補助していくとともに、緊急な措置が必要な場合には、緊急安全代行措置を取ることとしている。また、養生柵の設置など、周囲への危害防止等の対策も取るように考えて

いる。

議案第104号 玖西環境衛生組合の解散に伴う事務の承継に関する協議について

**問** 玖西環境衛生組合の解散後には、搬入先も変わっていくことになるが、公共下水道のほうとも連携を取りながら対応していくことは考えていないのか。また、合併処理浄化槽の処理料金の地域間での差についてはどのように考えているのか伺う。

**答** 処理料金については、今までも事業者とも協議を重ねており、いろいろな方向で研究をしている。また、組合の解散後は、今までと環境が変わることになるので、関係課と協議しながら、次の対応を検討していく。

## 総務

委員長 広中 信夫  
副委員長 丸茂 郁生  
委員 大西 明子・桑田 勝弘  
重岡 邦昭・細見 正行  
松川 卓司・矢野 匡亮



認定第1号 令和2年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について

**問** 高齢化社会において、バスの需要が高まることが予測され、特に高台団地では増便を望む声が出ている。昔のくるりんバスのような小型の車両の導入を含め、約3億2,000万円のバス等関係費で市民の足を確保するのに十分か伺う。

**答** 今後、高台団地などにおいて、小型車両で移動できる手段等も含めて検討している。いわゆるバスにおいては、厳しい状況の中で経営努力をされている。まずは企業として頑張っていたいただき、その上で、市としてどういった支援ができるか、現在持ち合わせている支援も組み合わせながら今後も検討していきたい。

**問** コロナ禍で飲食店等に時短要請が出ている中、午後8時以降に公園で飲食する人が増えている。今後このような迷惑行為を防止す

るのに防犯カメラの設置台数を増やすことはできないか。

**答** この事業は令和2年で完了している。今後機器の更新時期など、設置箇所について改めて検討する機会がくると考えている。公園における事案については、関係機関と連携を取りながら注視していきたい。

**問** 指定管理施設である二鹿野外活動センターについて、今後の方針を問う。

**答** この制度については、全国的に様々な課題が出てきており、この施設の在り方をもう一度整理し、本当に指定管理が適切かどうか検討したい。

**結果** 賛成多数で認定すべきものと決定

(賛成6人・反対1人)

総務常任委員会に付託されたその他の案件は、全会一致で認定及び可決すべきものと決しました。

## 11月臨時会のお知らせ(予定)

11月16日(火)	本会議
-----------	-----

## 12月定例会のお知らせ(予定)

11月29日(月)	本会議 (開会 議案等上程 説明 質疑 委員会付託)
12月8日(水)	本会議 (一般質問)
9日(木)	本会議 (一般質問)
10日(金)	本会議 (一般質問)
13日(月)	本会議 (一般質問) ※予備日
14日(火)	本会議 (一般質問) ※予備日
15日(水)	経済常任委員会
16日(木)	教育民生常任委員会
17日(金)	建設常任委員会
20日(月)	総務常任委員会
23日(木)	本会議 (委員長報告 質疑 討論 採決 閉会)

※日程については、変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

※傍聴については、市議会ホームページでお知らせします。



## 議場内に、心が和む「生け花」 ～9月定例会～

9月定例会一般質問の間、「草月流岩国」の方々に、「生け花」を生けていただきました。

花材 (ススキ、オミナエシ、ルリタマアザミ、ケイトウ、ドラセナ)



議会広報特別委員会  
委員長 山本 辰哉  
副委員長 矢野 匡亮  
委員 山本 辰哉

細見 正行  
広中 英明  
広中 信夫  
中村 豊  
中村 雅一  
長岡 辰久  
田村 博美  
植野 正則  
矢野 匡亮  
山本 辰哉

委員長 山本 辰哉  
今後ますますに、親しみやすい議会情報の発信に努めてまいります。市民の皆様、ご意見、ご感想をお寄せください。

また、今回の表紙は、9月に開催された第65回市美術展覧会で市議会議長賞を受賞された作品を掲載させていただきました。「芸術の秋」を感じていただける表紙といえました。

「市議会だより」は、市民の皆様気軽に自宅等で、市議会の情報を知っていただけるよう、わかりやすい紙面づくりを心掛けております。

編集後記